

■■化学療法投与計画書《ゼローダ+BV療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m ²	

Rp)ベバシズマブ(アバステン) 7.5 mg/kg 点滴静注 day 1 3週毎
 ゼローダ ※用量は下記参照 内服(1日2回) day 1(夕)~15(朝)

※ゼローダ用量:体表面積に応じて調整 [1日2回服用]
 1.36m²未満 1,200mg(4T)/body /回
 1.36m²以上1.66m²未満 1,500mg(5T)/body /回
 1.66m²以上1.96m²未満 1,800mg(6T)/body /回
 1.96m²以上 2,100mg(7T)/body /回

レジメンコメント1
レジメンコメント2

本管①	Day1
生理食塩液	100mL 1 瓶

側管①	全量100mLに調製
【mL】生理食塩液	100mL mL
ベバシズマブ	mg
※	〈腫〉ベバシズマブBS点滴静注400mg「第一三共」:
	〈腫〉ベバシズマブBS点滴静注100mg「第一三共」:

※初回90分 忍容性良好時2回目60分 以降30分で投与可

- ★ベバシズマブ投与期間中、以下の初期症状に注意すること
 (※緊急対応を要する副作用の可能性)
- ・突然起こる強い腹痛
 - ・下血
 - ・喀血
 - ・突発性意識障害
 - ・神経症状・頭痛・嘔気嘔吐・めまい
 - ・胸痛(胸部圧迫感)
 - ・呼吸困難・咳嗽
 - ・下肢の腫脹、疼痛、色調変化
 - ・急激又は著しい血圧上昇

- ★ゼローダ投与に伴う手足症候群予防対策
 〈初回投与時より開始〉
 ノイロビタン錠 2T 2×内服(休薬期間も継続)
 保湿クリーム 塗布 (1日5回以上頻回使用)

<実施時の注意>

- ベバシズマブ
 高血圧があらわれることがあるので、投与期間中は血圧を定期的に測定し、適切な処置を行うこと。
 蛋白尿があらわれることがあるので、投与期間中は尿蛋白を定期的に検査することが望ましい。
 ブドウ糖溶液と混合した場合ベバシズマブの力価の減弱を生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。
- ゼローダ
 TS-1投与中もしくは投与中止後7日以内→投与不可

<注意すべき副作用>

- 過敏症 ●食欲不振、吐き気 ●口内炎 ●手足症候群 ●色素沈着
- 脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など) ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少 ●肝機能低下